

広報

ただみ

12
2018 月号
No. 583
平成30年12月10日

今月の表紙

今月の表紙は、11月3日に開催された音楽ライブ「BEECH AND MUSIC(ビーチアンドミュージック)」で、感謝の気持ちで熱唱する只見町の高校生シンガーソングライター・大竹涼華さんです。

高校卒業後、大竹さんは東京に進学する予定で、これまで自分を支えてくれた人々への感謝の気持ちで今回恩返しライブを企画しました。

(関連記事:P19)

《特集》

八十里越の向こう側「三条市」特集… 2～9

第48回只見町文化祭…………… 10～11

上半期の財政状況／ふくしま駅伝… 12～13

《News&flash》…………… 14～17

《町の話》…………… 18～21



特集 国道289号八十里越で結ばれる二条市と只見町

八十里越の向こう側「二条市」をぜひ紹介



早期開通が期待される只見町と新潟県三条市を結ぶ国道289号八十里越。2023年度の開通を目指し、現在も両市町側から工事が進められています。

三条市と只見町では、この工事区間を暫定的に活用し、「八十里越通り抜けツアー」などの工事見学を積極的に行っていきます。これは、工事の進捗状況を実感することで早期開通への期待感が高まり、開通を見据えた地域間交流や連携を深める活動を活発化させる狙いがあります。

本号では、国道289号八十里越の工事の状況と通り抜けた先にある「三条市」について詳しくご紹介いたします。



▲三条市側、2号橋梁(長さ 190m)の工事を進める現場



▲只見町側・7号橋梁(33m)、土砂流出を防ぐための工事を進める現場



▲只見町側、大麻平アーチカルバート

― 国道289号
八十里越の工事 ―

国道289号は、昭和45年に国道として認定され、新潟県新潟市を起点として福島県いわき市に至る総延長約304きの道路です。

工事区間は「図1」のとおり、三条市塩野渚字御所から只見町大字叶津に至る総延長約20・8きで、国土交通省、福島県、新潟県がそれぞれ工事を実施しています。工事区間内にはトンネル14本、橋梁16本が計画され、難易度の高い整備を行っています。国内でもトップクラスの高さを誇る80m超の橋脚を備える第5橋梁(新潟県側)にも着手しており、最先端技術を駆使した工事が進められています。

― 所要時間が59分短縮
― 通年通行の恩恵 ―

現在、三条市へ行くには国道252号六十里越雪わり街道(只見町〜魚沼市間)を通るルートが一般的で、所要時

【図1】国道289号八十里越工事の「施工区間」



【図2】只見町～三条市のルート



新潟県三条市～福島県只見町間
所要時間が59分短縮

国道289号 八十里越～252号

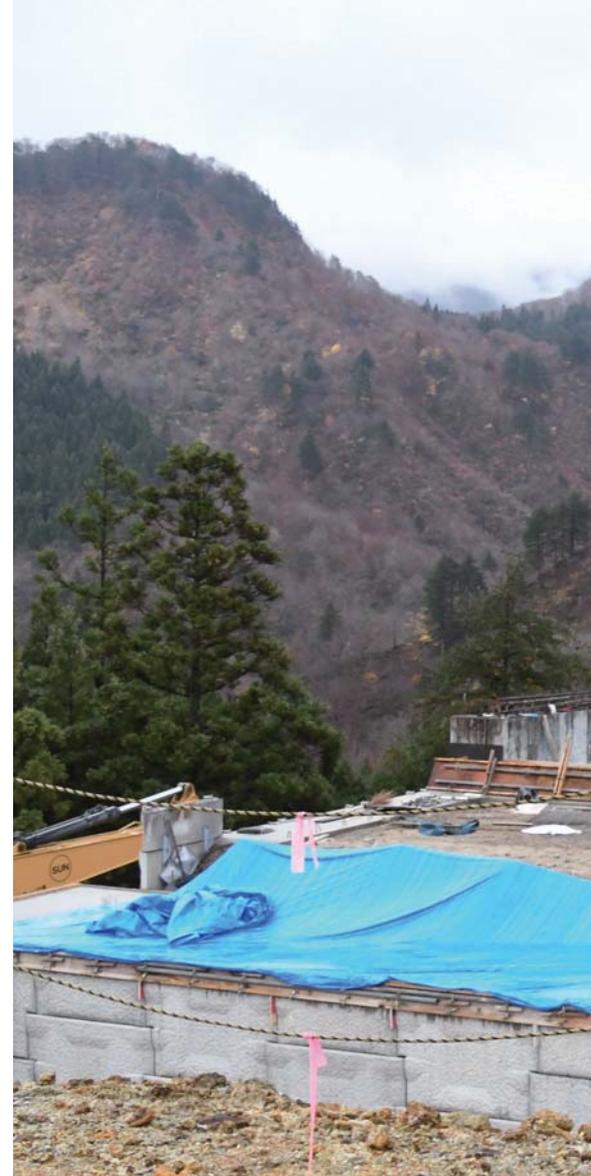
所要時間 1時間17分 (58km)

国道289号～290号～252号

所要時間 2時間16分 (87km)

北陸道～磐越道～国道252号

所要時間 3時間14分 (173km)



▲三条市側、最大で高さ 80m を超える国内トップクラスの橋脚を誇る5号橋梁(長さ 337m)の工事現場



▲三条市側、3号橋梁(長さ 64m)の工事現場から2号橋梁を望む。今後3、4号トンネルの工事が始まる

この所要時間の短縮により、2023年に三条市内に開院予定の「県央基幹病院」には、1時間以内に救急搬送できると見込まれており、今後の救命救急体制の向上が期待されます。さらに、交流人口の増加や物流などの輸送力向上による経済効果にも期待が寄せられています。

間は2時間16分とされています。しかし、只見町は日本有数の豪雪地帯のため、国道252号六十里越雪わり街道は冬期通行止めとなり、三条市への通行は会津坂下から高速道路で新潟市を経由するコース(所要時間3時間14分)、もしくはJR只見線で行くコースに限られています。国道289号八十里越が開通すると、通年通行が可能となります。図2のとおり三条市までの所要時間が1時間17分となり、国道252号六十里越雪わり街道の通行と比較すると59分の短縮が可能となる見込みです。



写真提供／三条観光協会



写真提供／三条観光協会

▲「金物のまち」として伝統の技が受け継がれている三条鍛冶



▲高い技術でつくられた包丁

産業、文化、自然が 調和する「三条市」

— 魅力あふれる三条市 —

三条市は、新潟県のほぼ中央に位置し、2005（平成17）年5月1日に三条市、栄町、下田村の3市町村が合併し誕生したまちです。市内の面積約430km²には、現在約9万9千人の市民が暮らしています。

産業では、400年以上

前から「鍛冶のまち」として知られ、現在も「伝統の技」と「先端技術」が調和する新技術・新製品開発が盛んな金属産業都市です。全国的に「金物のまち三条」として有名で、市内には600を超える中小企業が存在し、三条鍛冶の伝統を受け継ぐ包丁、利器工匠具、その鍛造技術を基盤とした作業工具を始めとして、測定器具、アウトドア用品、冷

暖房機器、産業機械など広範囲に渡り、優れた製品を生産しています。また、同市は多くの企業が集まる日本有数の産業集積地であり、人口比での社長の割合が日本一多いまちとしても知られています。

信濃川の豊かな水と肥沃な土地に恵まれ農業も盛んです。米はもとより、桃や洋梨ルレクチェなどの果物、ねぎやホウレン草などの野菜も有名です。市内の下田地域はサツマイモが特産品となっており、下田のサツマイモを使った芋焼酎やコロッケなど農産物の付加価値をあげる取り組みも行われています。さらに、昨年の只見の雪まつりに出店さ





写真提供／三条観光協会

▲下田地区に群生するヒメサユリは有名で、春にはヒメサユリ祭りも行われています



写真提供／三条観光協会

▲本成寺の一大行事として行われる本成寺鬼踊りは、厄祓いの形で節分の豆まき行事として行われ、毎年多くの人で賑わいます



写真提供／三条観光協会

▲熱気と興奮につつまれる「ただふるさと祭り」で開催される雨生の大蛇祭



写真提供／三条観光協会

▲新潟県指定無形民俗文化財にもなっている三条の「凧合戦(いかげっせん)」



▲日本有数の生産量を誇る三条市の「車麩」



写真提供／三条市

▲果樹栽培が盛んな三条市でつくられている洋梨ルレクチェ



▲三条カレーラーメンは 70 年以上の歴史があり約 70 店で食することができます

訪れることが可能となります。このように、三条市は産業と文化、自然が調和した魅力的なまちです。国道289号八十里越が開通すれば、いつでも

町内のシンボリックな存在である「本成寺」「八幡宮」「東別院」では、それぞれ「鬼おどり」「三条まつり」「お取り越し」といった大きな行事が行われます。

市内的下田地区は豊かな自然環境に恵まれ、景勝地八木ヶ鼻の周辺には温泉があり、トレッキング、五十嵐川でのカヌーなどのアウトドア体験ができます。一方、市街は城下町の寺町が基礎となっており、

見でもよく食される車麩(くるまぶ)といった食文化も有名です。

立地では、東京から上越新幹線わずか2時間、高速道も関東、北陸、東北方面とながっており、新潟空港からも約1時間とアクセスも抜群です。

三条市見どころマップ

さんじょうし

前頁で紹介したとおり、三条市は産業、文化、自然が調和した魅力あふれるまちです。
ここでは、只見町と三条市の玄関口「下田地域」を中心に、見どころポイントをご紹介します。



写真提供 / 三条市

八木ヶ鼻(やぎがはな) 新潟県三条市北五百川 35

高さ200メートル以上の石英粗面岩の壁が五十嵐川の上流にそそり立ち、岩肌が朝日に照らされる姿は神々しくもあります。自然の恵みを一身に受け、春は淡く、夏は強く、秋は艶やかに、そして冬はしっとり、季節の度に塗り替えられる絵画のように訪れる人の目を楽しませてくれます。八木ヶ鼻は古来よりハヤブサの生息地として知られています。ハヤブサは候鳥(渡り鳥)とされていましたがここでは通年その姿を見ることができ、毎年6月初旬には親鳥に育てられた3~4羽の幼鳥が巣立っています。新潟県景勝100選に選ばれた断崖絶壁の八木ヶ鼻近くの院内地内五十嵐川右岸嵐北用水路の沿道には、春の到来とともに桜の花が咲き、美しい光景を目にすることができます。

いい湯らてい(いいゆらてい) 新潟県三条市南五百川 16-1

大自然に囲まれた日帰り温浴施設「いい湯らてい」。新潟景勝100選の「八木ヶ鼻」を一望でき、男女別で露天風呂、ジェットバス、バイブラスがあります。お食事所も充実しており、ゆっくりお過ごしいただけます。



大谷ダム(おおたにだむ) 新潟県三条市大谷 171-2

大谷ダムは、五十嵐川に多目的ダムとして建設され、平成5年に完成しました。ダムは中央しゃ水壁型ロックフィルダムで、高さ75.5メートル、総貯水容量2,110万立方メートル、有効貯水容量1,705万立方メートル、洪水調節と流水の正常な機能の維持、上水道水の確保を目的としています。ダム湖はひめさゆり湖と命名され、ダム湖周辺には公園が整備されています。せせらぎ広場では水と親しむことができます。





燕三条地場産センター(メッセピア)

(つばめさんじょうじばさんせんたー)

新潟県三条市須頃1丁目17番地

物産館には、日本有数の金物産地新潟「燕三条」製品が勢揃い。伝統的な職人技から最先端のテクノロジーを駆使した製品まで豊富な品揃えです。約10,000点の洋食器・刃物他キッチン用品・鍋などを産地価格で販売しております。また、外国人旅行者の増加に対応するため、平成27年4月2日より免税店となりました。

県央基幹病院

(けんおうきかんびょういん)

【建設予定地】JR燕三条駅付近

平成35年度の開院を目標に、救命救急センターを併設した県央基幹病院。救命救急医療や高度・専門的医療の確保のため、周辺医療機関との連携と役割分担による新たな医療体制の構築を目指しています。



▲完成イメージ図(新潟県HPより参照)



道の駅 漢学の里しただ

(みちのえきかんのがくのさとしただ)

新潟県三条市庭月451-1

「道の駅 漢学の里しただ」は国道289号沿い”景勝八木ヶ鼻”近くにあります。大漢和辞典の編集者である諸橋轍次博士の生家・記念館や農家レストラン庭月庵悟空、農産物直売所彩遊記とともに文化と食の里として親しまれています。

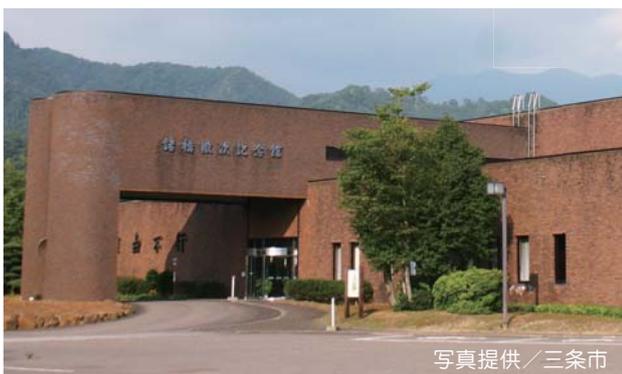


写真提供/三条市

諸橋轍次記念館(もろはしてつじかねんかん)

新潟県三条市庭月434-1

記念館には、博士の遺品・遺墨などの作品や貴重な資料が展示・収蔵されています。「漢字でのひらクイズ」や「漢字サークルビジョン」など子どもと大人が一緒に楽しめる施設となっており、敷地内には生家・遠人村舎・庭園も併設されており、無料で見学・散策することができます。



写真提供/三条市



▲朝日小学校2年生と只見町昔ばなしの会の皆さんが「昔ばなし」を披露した民話茶屋

いにしえ

「古を結び、未来をつなげよう」学び続ける只見町

第48回 只見町文化祭

— 第48回只見町文化祭 —

11月3日、只見振興センターにおいて「第48回只見町文化祭」が盛大に開催され、延べ1,700余名が来館しました。

開館式では、町主催の「わたしの自慢のごはんコンテスト」の表彰式が行われ、町内の小学生の入賞者15名のうち11名の方が出席し、菅家町長などから賞状と記念品を受け取りました。最優秀賞には、明和小3年の酒井優さん、只見小6年の五十嵐零生さん、只見中3年の小野佑月さんが選ばれました。

— 多彩な取り組みを —

紹介した各コーナー —

今年の文化祭は、「古を結び、未来をつなげよう」学び続ける只見町をテーマに、メインコーナーでは国道289号八十里越の工事進捗状況や歴史の道「八十里越」古道調査の状況などを展示しました。さらに民具収蔵庫の建設に向けた設計内容などの展示や「会津ヨシ！」のJR只見線ジオラマ展なども設けられ、同コーナーでは、埼玉県熊谷市在



▲「わたしの自慢のごはんコンテスト」入賞者の皆さん



▲オープニングライブで2曲を披露した大竹涼華さん



▲約 400 点の作品が展示された会場



▲子どもたちに大人気だった「会津ヨシ！」の只見線コーナー



▲10 団体の出店が並んだ物産展



▲喜楽会や只見高校茶華道部による茶道コーナー



▲多くの来場者で賑わった手工芸や民芸品などの体験コーナー、チャリティバザー、只見高校PRコーナー



▲八十里越関係や民具収蔵庫関係が展示されたメインコーナー

住で、只見線の歌を作詞作曲する栗田喜弘さんのライブも行われました。

会場内では絵画、書、俳句、短歌、写真などの作品展示や只見高校のPRコーナーなども設けられ、ハーバリウム体験やつる細工体験、陶芸体験、さらに「昔ばなし民話茶屋」コーナーなども人気を集めました。別会場の町下野球場では野球教室が行われ、多くの子どもたちが指導を受けていました。



▲宮城県東北高校で甲子園に出場、現在は指導者として活躍される福田正文さんの「野球教室」



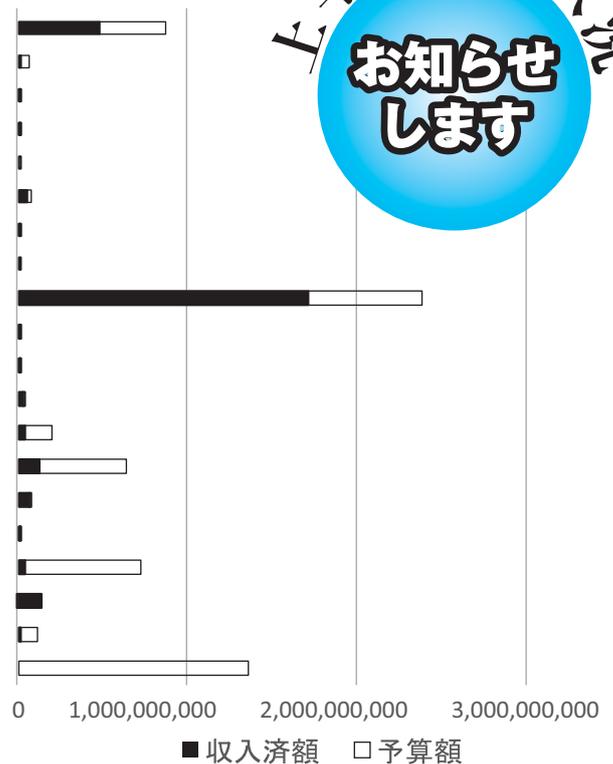
▲千葉県柏市から来町された永楽台地域の皆さん

上半期財政状況 お知らせ します

◆一般会計（歳入）

（単位：円、％）

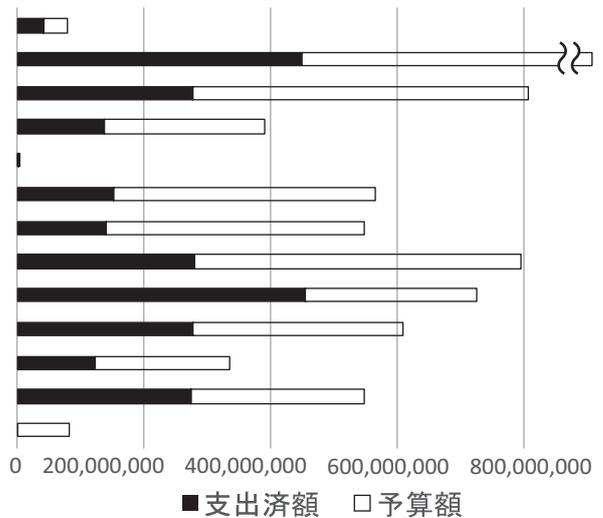
款	款 名 称	予算額	収入済額	収入率
1	町 税	871,864,000	479,829,556	55.03
2	地方譲与税	60,000,000	16,671,000	27.79
3	利子割交付金	500,000	219,000	43.80
4	配当割交付金	700,000	211,000	30.14
5	株式等譲渡所得割交付金	500,000	0	0.00
6	地方消費税交付金	76,000,000	46,231,000	60.83
7	自動車取得税交付金	12,000,000	4,363,000	36.36
8	地方特例交付金	1,000,000	1,000,000	100.00
9	地方交付税	2,387,550,000	1,711,321,000	71.68
10	交通安全対策特別交付金	700,000	361,000	51.57
11	分担金及び負担金	10,486,000	4,145,680	39.54
12	使用料及び手数料	38,349,000	18,777,188	48.96
13	国庫支出金	198,703,000	37,361,356	18.80
14	県支出金	632,908,000	118,561,407	18.73
15	財産収入	71,728,000	58,406,513	81.43
16	寄附金	8,001,000	2,449,404	30.61
17	繰入金	719,909,000	33,000,000	4.58
18	繰越金	134,979,000	134,979,858	100.00
19	諸収入	105,104,000	3,790,340	3.61
20	町 債	1,359,900,000	0	0.00
	合 計	6,690,881,000	2,671,678,302	39.93



◆一般会計（歳出）

（単位：円、％）

款	款 名 称	予算額	支出済額	支出率
1	議 会 費	77,789,000	39,611,825	50.92
2	総 務 費	1,205,521,000	449,803,182	37.31
3	民 生 費	806,896,000	276,731,851	34.30
4	衛 生 費	391,289,000	137,129,341	35.05
5	労 働 費	2,557,000	412,000	16.11
6	農 林 水 産 業 費	565,344,000	151,341,915	26.77
7	商 工 費	546,639,000	139,820,956	25.58
8	土 木 費	794,833,000	281,203,150	35.38
9	消 防 費	726,352,000	455,081,720	62.65
10	教 育 費	609,464,000	277,162,656	45.48
11	災 害 復 旧 費	335,405,000	123,499,134	36.82
12	公 債 費	546,947,000	273,376,603	49.98
13	予 備 費	81,845,000	0	0.00
	合 計	6,690,881,000	2,605,174,333	38.94



◆特別会計

（単位：円、％）

会計名	予算額	歳 入		歳 出		
		収入済額	収入率	支出済額	支出率	
1 国民健康保険事業	520,980,000	210,040,096	40.32	177,433,298	34.06	
2 国民健康保険施設	467,114,000	101,323,042	21.69	182,652,314	39.10	
3 後期高齢者医療	142,000,000	18,658,600	13.14	53,044,725	37.36	
4 介護保険事業	728,526,000	329,156,330	45.18	302,332,047	41.50	
5 介護老人保健施設	262,000,000	69,768,499	26.63	135,065,356	51.55	
6 地域包括支援センター	11,000,000	1,290,700	11.73	5,150,794	46.83	
7 簡易水道	258,666,000	28,267,101	10.93	106,823,152	41.30	
8 集落排水事業	300,556,000	45,096,264	15.00	133,333,990	44.36	
9 朝日財産区	14,000,000	13,936,528	99.55	118,500	0.85	
	合 計	2,704,842,000	817,537,160	30.22	1,095,954,176	40.52

町の財政事情がどのような状況にあるのかを理解していただくために、平成30年度上半期（4月1日～9月30日）の予算の執行状況をお知らせします。

歳入の収入済額は9月までに実際に収入となった金額で、歳出の支出済額は実際に支出した金額です。

これは、只見町財政状況等の公表に関する条例による公表です。



▲大会に参加した選手の皆さんとチームを支えた関係者の皆さん

以下のとおりです。只見町チームの記録は

「総合45位、町の部22位」という結果を収めました。

「5時間59分29秒で披露し、素晴らしい走り」が素晴らしい走りを披露し、5時間59分29秒で

「総合45位、町の部22位」という結果を収めました。

只見町チームの記録は以下のとおりです。

今年の只見町チームは中高生が主体のチームで、特に全16区間中8区間で只見中学生がエントリし、若い力が躍動しました。大会前には、目黒公二監督が「9月から週2回、只見中の星嘉人先生を中心とした厳しい練習を重ねてきた。若い力で大会に挑む」と話し、矢沢裕也主将は、「選手一丸で一本のタスキをつなぎ、一秒でも早く走りぬく」と決意を表明しました。

大会では、日々の練習で力を付けた選手全員が素晴らしい走りを披露し、5時間59分29秒で「総合45位、町の部22位」という結果を収めました。

只見町チームの記録は以下のとおりです。

第30回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会「ふくしま駅伝」 只見町チームが全16区間で躍動!

第30回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会「ふくしま駅伝」は11月18日、白河総合運動公園陸上競技場をスタートし、福島県

庁にゴールする全16区間、95キロで繰り広げられ、只見町チームが全16区間を駆け抜けました。



▲午前7時40分、白河総合運動公園陸上競技場をスタートする1区の星佑奈選手



▲力走する12区の鈴木道也選手



▲初のふくしま駅伝で快走する山内太喜選手

只見町チーム成績表 「タイム5時間59分29秒(総合45位、町の部22位)」							
区間	氏名	所属	タイム	区間	氏名	所属	タイム
1区(4.0km)	星 佑奈	只見中3年	16分00秒	9区(3.0km)	鈴木 来菜	只見中2年	12分45秒
2区(8.2km)	菅家 尚真	田村高2年	26分57秒	10区(9.3km)	関 雄太	只見高教員	33分28秒
3区(5.8km)	鈴木 詠大	只見中1年	21分09秒	11区(3.9km)	目黒 楓華	只見高1年	16分13秒
4区(7.3km)	大竹 力	南会津高2年	28分56秒	12区(7.0km)	鈴木 道也	日の出水道徇	28分35秒
5区(6.4km)	目黒 佳祐	只見高2年	24分02秒	13区(4.8km)	山内 太喜	只見中1年	18分25秒
6区(8.3km)	大束 一臣	只見ホーム	32分08秒	14区(5.7km)	菅野 慧汰	只見中2年	22分05秒
7区(5.4km)	横山 皓大	只見中2年	19分56秒	15区(3.4km)	三瓶日麻莉	只見中3年	13分49秒
8区(4.1km)	五十嵐涼凱	只見中3年	15分04秒	16区(8.4km)	矢沢 裕也	只見町役場	29分57秒

只見線復旧応援で俳優・渡辺謙さんが来町

10月26日、2011(平成23)年の新潟・福島豪雨で一部区間が不通となっ

ているJR只見線で、復旧応援ツアー列車が運行されました。新潟県魚沼市出身の俳優・渡辺謙さんもゲスト参加



▲地域住民と一緒に記念撮影した渡辺謙さん(中央)



▲只見線の説明を受ける渡辺さん

し、只見駅で地域住民と交流しました。

これは、只見線の魅力や復旧に向けた取り組みを発信するため、魚沼市の魚沼青年会議所が企画したもので、当日はツアー客約30名を乗せた列車が小出駅と只見駅を往復し、只見駅では只見保育所園児や町民など約50名が「ようこそ自然首都・只見」という横断幕を持つて歓迎しました。

只見駅に降りた渡辺さんは地域住民と交流し、只見駅前広場では菅家町長から只見線の復旧状況などの説明を受けました。振る舞われた甘酒を味わい、町内の旅館ではツアー客と共に郷土料理を楽しみました。

高校時代に只見線を利用したという渡辺さんは「只見線の復旧は地方がつながるシンボルになる。良い意味でもっと豪華をPRして集客するのもおもしろいと思います」と話していました。

朝日小、明和小PTA、只見町学校給食センターが受賞報告

11月2日、時事通信社の「第33回教育奨励賞」で優良賞に選ばれた朝日小学校の小林義弘校長、県教育委員会が主催する「平成30年度教育・文化関係表彰」で表彰された明和小学校PTAの印南正和会長と穴澤正志校長、只見町学校給食センターの三津間恵さんが役場を訪れ、菅家町長にそれぞれ受賞報告しました。

時事通信社の「教育奨励賞」は、創造性に富み特色ある教育で顕著な成果を上げた学校を称えています。今回の朝日小は、2013(平成25)年か



▲上段の菅家町長、橋本副町長、渡部教育長に受賞報告した下段手前から三津間さん、小林校長、印南会長、穴澤校長

ら実践する地域の将来の担い手育成に向けた「只見愛」教育の取り組みが評価されました。ふるさと教育「只見学」を中心に、地域住民を「先生」として招いた学習や、町の現状を調べて対策などを提言する学習などを行い、只見を深く学び、将来町のために活躍する人材育成に励んでいます。

また、県教委の「教育・文化関係表彰」では、明和小学校PTAが「社会教育功績顕著な団体」、只見町学校給食センターが「功績顕著な施設」として表彰されました。明和小PTAは、様々な事業をとおして地域や学校と連携し、長年にわたる子どもたちの育成に大きく貢献された功績が認められました。学校給食センターは、地域の食材を活用した地産地消や食育推進など多年にわたり学校給食の普及に尽力した功績が認められました。

それぞれの報告を受けた菅家町長は「明るい話題で大変うれしく、今後も学校行政を支えていただきたい」と話しました。



▲校歌など2曲を披露した只見中全校生による合唱



▲合唱で手話を披露する只見小児童の皆さん。合奏でも「ヤングマン(Y.M.C.A)」の振り付けで会場が一体となりました



▲菅家町長(右)に寄付を手渡す櫻井さんご夫妻、水村さん、野澤さん4名の皆さん



▲一ノ渡所長から「金色有功章」を受けるティーエヌアイ工業の田村副工場長

美しい歌声と迫力の演奏を披露

「第56回 只見町小中学校音楽祭」開催

11月7日、「第56回只見町小中学校音楽祭」が只見中学校体育館で行われ、保護者や地域住民など約100名が来場しました。

音楽祭は、始めに各小学校の児童2〜4年生(明和小は3〜4年)による合唱と合奏が披露され、各学校

の元気な歌声と表現豊かな演奏に、会場からは大きな拍手が送られていました。続いての只見中学校では、特設合唱部と全校生徒による合唱が披露され、その完成度の高い歌声に、会場は感動に包まれていました。

最後に、会場を訪れた全員による合唱「ビリーブ」が歌いあげられ、会場は大きな一体感に包まれました。

神奈川県海老名市から4名来庁

只見町に402,592円寄付

10月27日、神奈川県海老名市の慶泉学園さくら幼稚園理事長の櫻井直之さん、さよ子さん夫妻と、水村建築設計事務所の水村好男さん、野澤工務店の野澤春夫さんの4名が役場を訪れ、只見町に402,592円を寄付されました。4名の方々は只見町のファンで、今回の寄付は櫻井さんが運営する幼稚園などで募金を呼びかけたものです。

寄付では、4名の方々から菅家町長に寄付金が手渡され、櫻井さんが「町の発展に役立ててほしい」と話され、菅家町長が「大事に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。

日本赤十字社の献血団体表彰

功績称え町内企業の2社が受賞

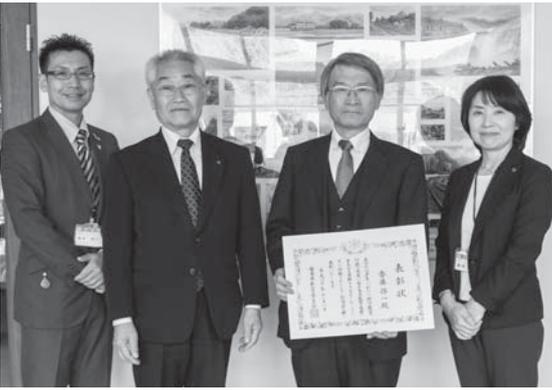
11月1日、日本赤十字社福島県支部が主催する「平成30年度献血団体並びに献血推進団体表彰」で、県赤十字血液センター会津出張所の一ノ渡俊也所長から町内企業のティーエヌアイ工業(株)会津工場、(株)会津工場の2社へ表彰状が伝達されました。

これは、多年にわたる献血への貢献に対し、その功績を称えるもので、ティーエヌアイ工業は「金色有功章」、会津工場へは「支部長感謝状」が手渡されました。今年度、南会津郡内では町内の2社のみが表彰され、両社とも「今後も献血活動に協力していきたい」と話していました。

県教委「教育・文化関係表彰」

齋藤修二前教育長が受賞報告

11月5日、県教育委員会が主催する「平成30年度教育・文化関係表彰式」で、「地方教育行政功労者」として表彰された齋藤修二前只見町教育長が役場を訪れ、菅家町長に受賞報告しました。齋藤前教育長は、2009（平成21）年12月1日から2期8年にわたり、教育長として町の教育行政を担ってきました。これまで「人材育成ダイヤモンドプラン事業」や「ユネスコスクール」の推進など数々の事業に取り組み、今回その功績が認められました。報告では、齋藤前教育長がこれまでの活動を振り返り、菅家町長がその功績を称えました。



▲菅家町長、橋本副町長、渡部教育長に報告した齋藤前教育長(中右)

香り豊かな新そばを堪能

「只見新そばまつり」開催

11月11日、季の郷湯ら里が主催する「第26回只見新そばまつり」が同施設で開かれ、町内外から約120名が参加しました。

会場では、「新そば」の冷たい盛りそばや温かい田舎そばが味わえたほか、野菜の天ぷらなども提供されました。さらには、湯ら里宿泊券やお持ち帰り用の新そばなどが当たる抽選会も行われ、菅家町長から当選者に景品が手渡されました。会津美里町から訪れた参加者は「美味しいそばを味わっています」と話し、新潟市からお越しの参加者も「そばの香りが高く美味しい」と新そばを堪能していました。



▲笑顔で只見産の新そばを味わう参加者の皆さん

華麗な舞や美しい歌声を披露

只見町文化協会「芸能発表会」

11月11日、文化祭事業の一環として「第23回芸能発表会」が季の郷湯ら里で開かれました。

この発表会は町文化協会が主催しているもので、宝生流只見謡曲研究会松楓会、はぎの会、只見音楽研究会、只見つくし会、只見民謡会、蒲生花輪踊り保存会、瞳の会、コーラスはなみずき、天領只見仙嶽太鼓保存会の9団体の方々が出演し、華やかな舞踊や迫力のある演奏などを披露しました。

また、発表会では飯塚恒夫前会長と山内幸三前事務局長に対する感謝状贈呈が行われ、齋藤修二会長からそれぞれに手渡されました。



▲力強い太鼓を披露した天領只見仙嶽太鼓保存会の皆さん

只見の素材を活かす人材育成

ダイヤモンドプラン第4回講座

11月16日、教育委員会の人材育成ダイヤモンドプラン事業・第10期生の講座が只見振興センターで開かれ、一般公開された第5回講座に受講生など約10名が参加しました。西会津高校の車魅ラスクプロジェクトをはじめ、全国の学生の産業起こしをプロデュースしてきた、i・c・u・b代表理事の小川悠さんを講師に迎え、「高校生がつくる只見の産業」をテーマに行われました。

講座では、地域の素材を活かした産業起こしや、商品・サービスの開発について話され、参加者は素材活用についての考えを学んでいました。



▲講師の小川さんより素材を活かすヒントを学んだ第5回講座

JR只見線の復旧・復興のために
三瓶政夫理事長が只見町へ寄付

11月19日、只見町商業振興協同組合の三瓶政夫理事長が役場を訪れ、JR只見線の復旧・復興への募金活動として只見町に58,613円を寄付されました。

これは、11月17日に同組合が民謡や歌謡ショー、カラオケ大会などを楽しむ「会津小町歌謡ショー」を開催し、その中で募金活動を行ったものです。

寄付では、三瓶理事長が「これから始まる只見線の上下分離方式の運営に役立ててもらいたい」と寄付金を菅家町長に手渡し、菅家町長は「ありがたい活用させていただきます」とお礼の言葉を述べました。



▲菅家町長(右)に寄付金を手渡した三瓶政夫理事長(左)

今年で8回目の開催
まるごと南会津観光PRフェア

11月17、18日、東京の上野恩賜公園で「まるごと南会津観光PRフェア」が開催され、多くの来場者で賑わいました。これは、南会津4町村などで行く「南会津着地型観光推進協議会」の主催で、只見町からはヤマサ商店、マドンケバブカフェ、只見町観光まちづくり協会などが参加し、観光PRや特産品を販売しました。

開会式では、橋本副町長がJR只見線を宣伝し、ステージでは小林早乙女保存会による早乙女踊りなどが披露されました。また、今年から訪日外国人向けブースが新たに設けられ、多くの方々に魅力を発信しました。



▲多くの来場者の前で披露する小林早乙女保存会の皆さん

福島県・只見町・食改が連携
留学生の健康づくり講話を開催

11月20日、只見高校に通う山村教育留学生の寮・奥会津学習センターで「留学生のための健康づくり講話」が行われました。これは、親元から離れて暮らす留学生の健康づくりの増進や進学などで一人暮らしになった際の健康知識向上を目指したもので、県と町、只見町食生活改善推進員会4名が連携し実施しました。

講話では、朝食の重要性や減塩などについて説明し、試食として「塩レモン焼きそば」「ふわふわ卵スープ」を提供しました。試食した学生からは「丁度よい味で美味しい」との声が聞かれ、健康への知識を深めていきました。



▲今年で開催2回目、寮の夕食の時間に行われた健康づくり講話

朝日小学校で教育研究を深める
第4回ESD公開授業研究会

11月22日、朝日小学校が主催する「第4回ESD公開授業研究会」が同校で開かれ、町内外から教育関係者が参加しました。これは、ユネスコスクール認定5年目を迎えた同校が実践する「只見愛の教育(ESD)」の取り組みを公開し、多くの教育関係者と教育について研究を深めるものです。

公開授業は、1年生の道徳「よいこと、わるいこと」と4年生の社会科「郷土の発展に尽くす」をテーマに行われ、参加者は様々な視点で課題や成果を確認しました。授業終了後には、参加者による意見交換などを行い、教育推進を図りました。



▲「友達が悪いことをしたら」を題材に行った1年生の公開授業

かわいい踊りと名演技を披露 3地区の保育所でお遊戯会

町内3保育所の「お遊戯会」がそれぞれ開催され、多くの保護者や地域住民が参観しました。お遊戯会は、今年度から新設されたふたば組(1、2歳児)からさくら組までの全児童が、これまで練習を重ねてきた「劇」や「ゆうぎ」などを披露し、子どもたちの素晴らしい発表に会場からは大きな拍手が送られました。また、今年小学校に入学した新1年生も会場を訪れ、歌や演奏などで成長した姿を披露しました。



▲(11月16日、只見保育所)昔語り「さるとうさぎとびっさ」を披露したひまわり組8名の皆さん



▲(11月20日、朝日保育所)華麗な舞いを披露したさくら組3名の皆さん



▲(11月30日、明和保育所)今年新設されたふたば組8名によるリズム遊び

ドキュメンタリー映画 「水になった村」を上映

10月28日、ダム建設により水没してしまう山村のドキュメンタリー映画「水になった村」の上映会が青少年旅行村いこいの森の古民家で開かれ、約80名が来場しました。これは、地域住民でつくる「笑むでるくらぶ」が主催したもので、ダム建設により同様の歴史がある只見町で上映しました。映画は、1957年の岐阜県徳山村を舞台に、ダム建設により沈んでしまう村に、できる限り暮らし続けた人々を写した映画で、監督で写真家の大西暢夫さんが15年間東京から通い、その姿を追い続けたものです。

上映会では大西監督の講演会が行われ、ダム建設が決まり沈むまで自分の家で楽しく暮らし続けた人々について紹介されました。主催した「笑むでるくらぶ」代表の鈴木サナエさんは、自身も田子倉に所縁があり、「映画をとおして、只見に暮らすことへの誇りを感じてもらいたかった」と話していました。



▲主催した「笑むでるくらぶ」代表の鈴木サナエさん(右)と大西暢夫監督(左)



▲多くの方が参加した会場

ブナと音楽が寄り添う場所で恩返しライブ

大竹涼華さん「BEECH AND MUSIC」開催

11月3日、只見字田中出身の高校生シンガーソングライター・大竹涼華さん（只見高校3年）の恩返し音楽イベント「BEECH AND MUSIC（ビーチアンドミュージック）」が只見スキー場ロッジで開催され、町内外から多くのファンが来場しました。大竹さんは、恩師の影響で中学3年からギターを始め、高校1年生のときにギター弾き語りコンテスト「アコワン・グランプリ」で優勝。以降は、風とロックCARAVAN福島など町内外の数々のステージに参加してきました。今回のイベントは、大竹さんが高校を卒業する前に、これまで自分を応援してくれた方々への感謝の気持ちを伝えるイベントとして、町内有志の方々でつくる実行委員会が企画しました。

ステージには、風とロックCARAVAN福島で共演したミュージシャン渡辺俊美さんやひとりぼっち秀吉バンド、シンガーソングライターMANAMIさんなど全5組が出演し、一緒にライブを盛り上げました。大竹さんのステージでは、「自分を育ててくれた只見町とこれまで出会った人に感謝を伝えるためにこのイベントを開催しました。夜な夜なお父さんと眠いと言いながら準備したのも良い思い出です」と話し、オリジナル曲など全4曲を感謝の気持ちで熱唱しました。高校卒業後、大竹さんは東京の音楽系専門学校に進学する予定で、将来はプロデビューを目指します。



▲感謝の気持ちを込めて熱唱する大竹涼華さん



▲多くのファンが詰めかけた会場内ではライブのほか、飲食物の販売コーナーを設け、JR只見線の写真展を開催。電車が通過する午後6時半ごろには、来場者とともにスキー場から只見線に手を振りました

小川サロンと湯ら里で寄席

三遊亭鳳楽師匠の「独演会」開催



▲小川サロンで落語を披露する三遊亭鳳楽師匠

10月26日、小川地区の65歳以上の地域住民が集い活動する地域づくりサロン事業「小川いきいきサロン」で、落語家・三遊亭鳳楽師匠の独演会が開催され、住民約70名が集いました。

鳳楽師匠は、「小川サロンで落語するのは今年で5回目。笑いは健康に良いので沢山笑ってほしい」と話し、「牛ほめ」という噺を披露しました。会場は大きな笑いにつつまれ、終了後には集落の方々から感謝の言葉と地域の特産品がプレゼントされました。翌日には、季の郷湯ら里でも「第13回湯ら里寄席」が行われ、多くの町民に笑い与健康が届けられました。

ライザップと連携し健康増進を図る 「イイからだづくりプログラム」

11月8日、只見町とRIZAP（ライザップ）が連携する健康づくり事業「イイからだづくりプログラム」の第1回講座が只見振興センターで開かれ、受講生全20名が参加しました。これは、町の健康課題である「肥満」や「糖尿病」などの予防・改善を目指し、「結果にコミットする」をうたうトレーニングジム・ライザップの3ヵ月（全8回）出張型プログラムに取り組むものです。第1回講座では、ライザップトップトレーナーから3ヶ月後の目標設定や低糖質の食事、消費カロリーを大きくするトレーニング方法などを学び、参加者は目標への第1歩を踏み出しました。



▲正しい知識でトレーニングを行うことが重要と話すライザップトレーナー



▲今年銀賞に選ばれたIWSCの賞状を手にする脇坂代表（中）と金賞に輝いた香港IWSCの賞状を手にする菅家町長（右）、同席した橋本副町長（左）

米焼酎「ねっか」が快挙！ 香港の国際品評会で「金賞」受賞

合同会社ねっかの米焼酎「ねっか」がアジア最大級の酒類品評会「香港インターナショナル・ワイン&スピリッツ・コンペディション（香港IWSC）」の焼酎部門で最高賞の「金賞」に輝き、11月21日に同社の脇坂齊弘代表が菅家町長を訪れ、受賞報告しました。これは、アジア最大級の酒の国際コンクールで、今回米焼酎「ねっか」は販売開始から約1年半で金賞に選ばれました。

受賞報告では、脇坂代表が「イギリスでの国際品評会IWSCで2年連続銀賞に選ばれ、今回香港IWSCでも金賞を取ることができた。今後も国内外に出荷先を広げ、只見町の米づくりや酒づくりを盛り上げていきたい」と話し、菅家町長がその功績を称えました。

主要農産物で交流と食育を推進 只見町と柏市で学校給食食材交換

11月21日、ふるさと交流都市千葉県柏市と只見町が行う「学校給食用食材交換事業」として、町内の小中学校で柏市産ブルーベリーを使った給食が提供されました。これは、平成24年度から行われている事業で両市町の主要農産物を交換し交流と食育の推進を図るものです。柏市からは、大粒のブルーベリーが提供され、只見町からはこだわりの只見産米「コシヒカリ」を柏市立柏第八小学校へ提供しました。朝日小では、全校児童に柏市の生産者や食材交換事業の経過、ジャムにするまでの工程などが紹介され、食材をとおして柏市との交流が深められました。



▲柏市産ブルーベリージャムをパンにつけて美味しく食べた朝日小児童の皆さん

只見の自然環境を活かした取り組み 自然を満喫する「ヨガ合宿」開催

10月27～28日、会津若松市のヨガスタジオ「Well-being Studio 9C」のヨガ合宿が只見町を会場に開催され、町民なども参加しました。これは、只見の自然環境を活用したヨガ教室で、5月から月2回朝日振興センターなどを会場に開催し、今年最後となった今回は合宿を行いました。合宿では、森林の分校ふざわに宿泊しながら、ヨガ体験やブナ林散策などを行い、自然豊かな只見で健康増進を図りました。



▲Wellbeing Studio 9C の仙波修子さんが講師を務めたヨガ合宿

朝日地区地域づくり委員会と朝日小が連携 朝日小で「イワナつかみ体験」実施

10月30日、朝日小学校で「イワナつかみ体験」が行われ、全校児童が参加しました。これは、朝日地区地域づくり委員会と朝日小が連携して実施したもので、同校に仮設の生け簀を設置してイワナを放流しました。児童たちは、イワナつかみからイワナさばきまで体験し、委員会の方々が炭火でじっくりとイワナを焼きあげました。焼きあがったイワナを食べた児童からは「美味しい!」という声が聞かれました。



▲焼きあがったイワナをみんなで食べる3、4年生の皆さん

新潟県魚沼市の伝統食を学ぶ 「魚沼郷土料理講座」を開催

10月30日、新潟県魚沼市の郷土料理を学ぶ「料理講座」が只見振興センターで開かれ、約20名が参加しました。これは、同センターが企画したもので、講師にゆのたに茶々の会(魚沼市)の大桃久子さん、佐藤あさのさん、志田アケミさんの3名を迎え、新潟の名物「笹団子」の作り方を学びました。

講座では、調理方法や笹の巻き方などを学び、参加者は新潟の伝統食への知識を深めていました。



▲笹団子の作り方を学ぶ参加者の皆さん

親子で楽しく運動会 かるがもクラブで運動会を開催

11月10日、かるがもクラブの「運動会」が只見振興センターで開かれ、10組32名の親子が参加しました。このかるがもクラブは、子育て世代の親子の交流の場として実施しているもので、保健福祉課と民生児童委員が連携して親子をサポートしています。

運動会では、トンネルなどをくぐる障害物競走やおやつ拾いなど全3種目が行われ、参加した親子は協力しながら競技を楽しんでいました。



▲おやつひろいの競技で、宙ぶりになっているおやつをジャンプして取る子どもたち

広報ただみ診療所

朝日診療所
医師 山内 健士郎



「うつ病へのご理解とご協力を」

皆さんこんにちは。朝日診療所の山内です。いよいよ厳しい冬が近づいて参りました。只見町をはじめ東北の山間部の冬は日照時間が短く、出歩くのも大変で気分が沈みがちです。東北地方の高い自殺率は、東日本大震災以前から福島県民にとっても大きな課題です。

世界保健機関(WHO)によると、うつ病の人は世界で3億人以上、日本にも500万人以上、約4%がうつ病に苦しんでいると推定されており、只見町にも200人近い方が診断はされずともうつ病に苦しんでいる可能性があります。うつ病は誰にでも起こりうることであり、適切な診療をされないと症状が長引き、最悪の場合自殺してしまうことがあります。

最もうつ病を疑う症状は、最近2週間の間に「気分の落ち込み、憂鬱」、「物事への興味の喪失」があることです。ただし、薬の影響や貧血などのお身体の問題によりうつ症状がでることもありますので、精神的なものと決めつけてはいけません。そして普段している仕

事や家事などが出来なくなっている、自殺や自傷を考えている場合は、すぐに当院をはじめ医療機関を受診してください。

そして、うつ病の方は気分の落ち込み、無力感、罪悪感などに苦しんでおり、ご本人と周囲の方からすると「なんでこんなことができないのか」と思えるかもしれませんが、適切な治療をしながら、少しずつ元の生活を取り戻すことは可能です。そのためには周りの方の協力が必要不可欠です。話をしっかり聴いてあげること、無理に励まさない、大きな決断は先延ばしにさせる、受診には付き添ってあげることなどが大事です。

朝日診療所でもうつ病の方を診ており、必要であれば専門医にご紹介しております。もし、あなたや周囲にうつ病を疑う症状の方がいれば是非ご相談に来てください。

地域おこし協力隊として 只見町教育振興協力隊 vol.49

はまつ こうや
浜津 航矢



「只見ファースト」

皆さんこんにちは、7月より地域おこし協力隊として心志塾で講師をさせていただいております浜津航矢です。

私は宮崎県出身の神奈川県育ちで、大学を今年卒業したばかりの23歳です。只見町に来てから初めてのことで、不安と高揚が入り混じっているような、そんな心境であります。社会人という立場も初めてであります。一人暮らしも只見が初めての経験であります。そのため、炊事・洗濯などがなかなか大変で、衣類の洗濯表示マークにこんなに気を遣わなくてはならないのかと嫌気がさしているところ。親のありがたみを離れてみてから気づく

という、定番の一つを経験しております。ありがとう。

さて、もうすっかり紅葉の季節も終わりを迎え、本格的に寒くなってくる頃ですね。只見では雪がとにかく半端ないということをいろんな人からよく伺いますが、私は雪が楽しみではないです。というのも、雪が積もっているところに住んでいた経験がなく、怖いもの見たさが勝っている状況であります。この原稿が載っているころにはどうなっているのでしょうか。

いろいろと初めてづくしですが、只見の生活を楽しんでいきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

カエルとサンシヨウウオの楽園・ただみ

只見町のサンシヨウウオ②

― 溪流にすむ仲間 ―

只見町には五種のサンシヨウウオ類(有尾類)が生息しています。そのうちの二種、ハコネサンシヨウウオとタダミハコネサンシヨウウオは山地の溪流とその周辺の森林を住処にしています。雪の多い只見町は地下水が豊富で、山林の所々から年間を通して冷たくきれいな湧水が湧き出して流れをつくり、彼らの良好な生息環境となっています。

二種のうちの二つ、ハコネサンシヨウウオは福島県・茨城県以西の本州に広く分布しており、会津地方の山間部でもっとも個体数が多く普通にみられる有尾類です。檜枝岐村や旧館岩村、栃木県の旧栗山村では、かつて初夏の繁殖期に溪流に罾を仕掛けて捕獲し、燻製にしたものを薬用に出荷して現金収入としていました。檜枝岐村では小規模ながら現在も漁が行われ、燻製が生産・販売されています。只見町内ではそういった漁は行われませんが、



▲ハコネサンシヨウウオのオス(黒谷)

いたるところの溪流にハコネサンシヨウウオが生息しており、沢で石をめくるとその下に隠れている幼生(上陸前の子供)を観察することができます。幼生は溪流での生活に適応しており、水の抵抗を減らすためにエラや尾ビレは小さくなり、指先には滑り止めとなる湾曲した黒い爪を持っています。そのため比較的に見分けは簡単です。溪流でサンシヨウウオの幼生を見かけたら指

先をよく見てみてください。

この幼生は二年以上かけて成長し、三年目の秋ごろに変態・上陸して陸上生活に入ります。そのため溪流の中には一年目から三年目まで、大中小のさまざまな大きさの幼生が見られますが、共食いをすることはほとんどありません。池に生息するクロサンシヨウウオの幼生が激しく共食いしながら三〜四ヶ月ほどで上陸してしまうのと比べて、ハコネサンシヨウウオは成長が非常にゆっくりで、性質は穏やかです。干上がってしまう心配がなく、水温が低く安定した溪流という環境に適応したこと、大きさの異なる幼生が一つの沢の中で暮らす生態とが、そのような習性を発達させたのかもかもしれません。陸上生活に入った後、成熟までにはさらに二年以上かかるものと思われませんが、その間のかわしい生態はよくわかっていません。



▲ハコネサンシヨウウオの幼生。背中模様は帯状からまだらまでさまざま。指先に黒い爪が見える(黒谷)

ハコネサンシヨウウオは世界的にみても特殊な産卵生態をもっており、初夏に溪流源流部の地下水脈中に卵囊(卵が入った袋)を産み付けます。そのため卵が地上で見つかることはきわめて珍しく、卵ではなく幼生を直接産むのではなくと考えられていた時期もあるほどです。産卵場所と卵囊は昭和九年(一九三四年)に旧館岩村の枯木山の山中で、新潟医科大学の工藤得安博士によって初めて確認されました。発見の陰には現地のベテラン山椒漁師の協力があったことも記録されています。しかし

その後現在に至るまで、卵囊が実際に確認された例は全国的にも数えるほどしかありません。町内で一番ふつうにみられるサンシヨウウオなのにもかかわらず、その生態は現在も謎に包まれているのです。

二種のうちのもう一つ、タダミハコネサンシヨウウオは、ハコネサンシヨウウオに近縁な新種として二〇一四年に只見町で発見されました。只見町と新潟県三条市・魚沼市に分布し、町内では只見川周辺より西側で確認されています。外見の特徴や生態はハコネサンシヨウウオにとてもよく似ていますが、産卵期が晩秋から初冬であるという点が大きく異なります。またハコネサンシヨウウオは背中が黄土色の帯状の模様がありますが、タダミハコネサンシヨウウオは模様がほとんどなく全身が黒いという違いもあります。不思議なこと、同じ沢でこれらの二種両方の幼生が見つかっています。DNAを用いた研究では両種は雑種を作ることとまれで、互いの独自性を維持しながら共存していることが確かめられています。



町民文芸

只見短歌会

十月詠草

大塚栄一

指導

そばの花ほのぼの白く浮きたちて遠くに見ゆる畑はたの帰りに

馬場 八智

目黒 富子

勝負ごとに理解はあれど子供等の涙を見れば我も泣きたし

新国由紀子

祖父母参観に行けば園庭の隅なに生る紫式部の実の膨らみて

渡部ゆき子

遠き日の食糧難を思ひつつ巡るスーパー季節を問はず

関谷登美子

晩秋のまばらな紅葉朝もやに山の頂きつつまれてをり

渡部ヨリ子

丁寧に孫の掘りたるサツマイモ腕より太きを我に見せくる

新国 洋子

見に行けぬわれにと孫嫁保育所の運動会のビデオを写す

(出詠順)

只見俳句会

十一月例会

目黒十一

指導

初生りの柿三個とや妻の声
忘れられ蹴られて一つ胡桃かな

修 一

炊飯の釜に寄る子や栗ご飯
荷物来る今は種無しブドウかな

都

紅葉の要害山や尾根の松
和気あいあい公民館のそば祭り

敦 子

吾亦紅名も実もいとし支柱解く
今年米ほめて又ほめ夕餉かな

弘 子

点となり蒼穹に溶け帰燕かな
野戦の月ふるさとに酌む月見酒

吉 児

自撮り画の背景に冬来ておりぬ
初雪やちようど一冊読み終えて

恒 夫

妻の血は我より旨き藪蚊かな
白菜を摘み終わる待ち西疾風

幸 生

日は午後に庭に均す干し大豆
茶の花を活け人を待つここちかな

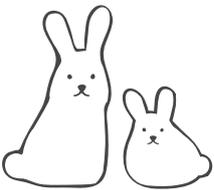
礼

晴天に急かされ一人冬支度
朝靄の馬拉ソランナー枯葉踏む

信

大根を摘んで蕘屋の宿の中
初霜や草木すべて氷と化し

一 穂



今月のお知らせ

電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
地域創生課	
創生企画係 広報広聴係	
ユネスコエコパーク推進係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林建設課	
農林係	☎82-5230
建設係	☎82-5270
観光商工課	
観光係 商工係	☎82-5240
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

税 今月の納期

12月25日までに
納めましょう

- 国民健康保険税(6期)
- 水道使用料(3期)
- 農集排使用料(12月分)
- 介護保険料(6期)
- 後期高齢者保険料(5期)

募集

平成31年度 保育所入所児童を募集します

町では平成31年度の保育所入所児童を次のとおり募集します。

●対象児童

平成31年4月1日現在満1歳以上の児童で、保護者の就労などにより保育を必要とする児童

●募集定員

- ・只見保育所 60名
- ・朝日保育所 60名
- ・明和保育所 60名

●申込み受付期間

平成30年12月28日(金)まで

●受付場所

- ・只見保育所 (☎82・2219)
- ・朝日保育所 (☎84・2038)
- ・明和保育所

●町民生活課 (☎86・2249)

●保健福祉課 (☎82・5100)

●朝日振興センター (☎84・7010)

●明和振興センター (☎84・2111)

●申込書類(受付場所) (☎86・2111)

●申込書類(受付場所) (有)

- ・支給認定申請書兼保育所入所申込書(新規入所の方)
- ・支給認定現況届兼継続入所申込書(継続入所の方)
- ・就労証明書(お勤めの方)
- ・保育を必要とする事由の証明書・申立書(お勤めの方以外)

▽平成31年度中に満1歳になられる児童で、年度途中からの入所を希望する場合も今回お申込みください。

▽入所の承諾は、2月中に文書で通知します。

▽定員以上の申込みがあった場合

は、選考基準によって選考させていただきます。

●問合せ先

保健福祉課 福祉係

☎0241(84)7010

試験

社会福祉法人南会津会 職員採用候補者試験(後期)

法特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などを運営する社会福祉法人南会津会では、職員採用候補者試験を次により行います。

●採用予定職種・採用予定人員

- ①看護職員 / 4名(勤務先は特別養護老人ホームなど)
- ②理学療法士又は作業療法士 / 1名(勤務先は介護老人保健施設こぶし苑)

●採用予定年月日

平成31年4月1日

●職務内容

①看護職員
診療の補助、看護、健康管理、保健衛生などの業務

※勤務は交替制(夜勤有り)

②理学療法士又は作業療法士
利用者に対するリハビリテーションなどの業務

●受験資格(次に該当する者)

- ①普通自動車一種免許取得者又は、平成31年3月31日までに取得見込みの者
- ②平成31年4月1日現在60歳未満の者
- ③次の資格を有する者
 - ・保健師助産師看護師法に定める看護師免許又は准看護師免許の取得者
 - ・理学療法士又は作業療法士法に定める理学療法士免許又は作業療法士免許の取得者

●申込受付期間

12月25日(火)まで。郵送などによる申込の場合は、12月25日(火)必着。

●問合せ先

南会津会本部事務局
(南会津町永田字風下3番地1)
☎0241(63)1118

④次の該当者は受験できません

只見産そば粉を使用した香り高いそばの味を堪能 「第3回 朝日そばまつり」開催

11月23日、朝日地区地域づくり委員会が主催する「第3回朝日そばまつり」が朝日振興センターで開催され、子どもから大人まで約50名が参加しました。これは、町のそばの魅力を伝え、そば栽培の振興に繋げることを目的にしており、熊倉蕎麦愛好会の皆さんの協力により開催しているものです。

会場では、香りの高い只見産そば粉を使用した冷たい盛りそばと温かい田舎そばが提供され、参加者はそばの味と香りを堪能していました。



▲多くの子どもたちもそばの味を楽しんだそばまつり



こうき
齋藤 光希くん
(小林)



さき
山内 咲輝さん
(小林)



こたろう
山内 琥太郎くん
(小林)

虫歯の
ない子



(10月30日)
3歳児検診

町長スケジュール (11月分)

- 2日 定例庁議
- 3日 只見町文化祭開館式
- 4日 柏市永楽台ふるさと協議会来庁、
南会津地方環境衛生組合職員採用候補者面接審査
(下郷町)
- 5日 南会津地方広域市町村圏組合管理者会、
南会津地方広域市町村圏組合議会全員協議会
(南会津町)
- 6日 南会津地方環境衛生組合議会行政視察研修
(～7日 米沢市、相馬市)
- 8日 会津総合開発協議会役員会(会津若松市)、
ユネスコエコパーク連絡調整会議、診療所医師との懇談会、
ふくしま駅伝只見町選手結団式及び壮行会
- 9日 栃木県那須町副町長来庁
- 10日 県立南会津高等学校創立70周年記念式典、
只見新そばまつり
- 11日 只見町文化協会芸能発表会
- 12日 南会津西部非出資漁業協同組合長来庁
- 14日 実施計画ヒアリング、交流施設に係る調査特別委員会、

- JR東日本仙台支社次長来庁
- 15日 簡易水道整備促進全国大会、
全国過疎地域自立促進連盟定期総会(東京都)
- 17日 只見町社会福祉の集い
- 18日 ふくしま駅伝(福島市)
- 19日 除雪会議、只見町議会11月会議、
福島県生活環境部次長来庁
- 20日 全国治水砂防促進大会及び要望活動(東京都)
- 21日 只見町総合教育会議、12月補正予算町長査定
- 22日 誘致企業雇用対策意見交換会
- 25日 ふるさと只見会(東京都)
- 26日 ダム・発電関係市町村全国協議会理事会、
ダム・発電関係市町村等振興議員連盟との合同勉強会
(東京都)
- 27日 南会津農林事務所長来庁
- 28日 全国町村長大会(東京都)
- 29日 全国山村振興連盟通常総会(東京都)
- 30日 只見ふるさと雪まつり実行委員会、農業者との懇談会

町民の消息

(10月26日～11月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

五十嵐 心^{こな} 奏(女/勇貴・美智子) 小林
五十嵐 蘭^{らん} (女/輝・美希) 黒谷

■おくやみ申し上げます

小 沼 一 雄	90歳	大 倉
渡 部 キヌ工	98歳	長 浜
吉 田 梅 夫	88歳	叶 津
酒 井 啓 安	79歳	只 見
小 沼 光 雄	93歳	黒 谷
田 村 榮 一	86歳	塩 沢
馬 場 スミ工	92歳	館ノ川

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

平成30年11月1日現在

人 口 4, 242 (－ 3)
男 2, 085 (－ 2)
女 2, 157 (－ 1)
世帯数 1, 864 (± 0)
高齢化率 45.78%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 4 転出 5 出生 3 死亡 5

▽あつという間に師走となり、今年も残すところあと数日となりました。
▽今年を振り返ると、春には役場庁舎の暫定移転で、旧庁舎から「町下庁舎」と「駅前庁舎」に機能を移転しました。また、今年は戊辰150周年の年で、実行委員会を中心に様々なイベントが企画され、町の歴史文化を発信しました。さらに、「自然首都・只見」宣言10周年を記念した「全国ブナ林フオーラム」も実施され、ブナ林の保護・保全と持続可能な利用について考えました。
▽このように、今年はいくつかの節目を迎えた1年だったように感じます。来年は、町制60周年を迎える年となりますので、その点を踏まえて様々な情報を届けられるよう努めていきたいと思っております。
(三瓶)

あとがき

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくり楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章

生涯学習サポーター
三瓶美由紀

朝日振興センター
図書室 ☎84-2111

おすすめ新着図書

★思い出が消えないうちに



川口俊和/著(サンマーク出版)

伝えなげやいけなげな想いと、どうしても聞きたい言葉がある。

心に閉じ込めた思い出をもう一度輝かせるために、不思議な喫茶店で過去に戻る4人の物語――。

『コーヒーが冷めないうちに』シリーズ最新刊!

★おしりたんていーみはらしそうのかいじけん



トルロ/作(ポプラ社)

あなたは、おぼけをしんじますか?

迷路や絵探しなど、おしりたんていといっしょに謎を解きながら真実にせまる、本格的推理読み物シリーズです。

「みはらしそうのかいじけん」と「もちぬしふめいのとうひん」の2話収録。

何度読んでも発見がある、推理小説の入り口にも最適な知的好奇心をくすぐる1冊です。

★朝日振興センターではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば ぜひ、リクエストしてください。

シジュウカラ (学名: *Parus minor*)

[スズメ目 シジュウカラ科]



▲腹部の黒いたて線が目印のシジュウカラ



▲建物わきに置かれた木製の覆いの隙間からカメムシを引っ張り出したところ

冬季には野鳥が極めて少なくなる只見町で、雪の時期でもよく見ることができる鳥がシジュウカラです。シジュウカラは、日本全国で普通に見られるスズメほどの大きさの小鳥です。大都会の緑地から山地の森林地帯まで幅広い環境に生息しています。白黒の地味な色合いですが、よく見ると背中美しいウグイス色をしています。

只見町では、雪の季節によく家屋や建物の近くでシジュウカラを見かけます。ただみ・ブナと川のミュージアムにも12月から1月にかけて出現します。その様子をじっくりと観察してみると、屋根と壁の隙間やエアコンの室外機などに飛びついて、陰になった部分を覗き込んでいます。そして、隙間に^{くちばし}嘴を入れると虫を引っ張り出して食べるのです。多雪環境にある只見町では、冬になるとシジュウカラの食べ物となる昆虫類やクモ類、果実などが見つけにくくなります。そのため、家屋や建物の壁面などに隠れている昆虫を積極的に食べにくるのです。マイマイガが大量発生した年の冬には、建物に産み付けられた卵をむしりとり食べている様子もみられました。シジュウカラは、私たちの知らないところで、家屋に巣くう虫を取ってくれています。

企画展

「只見の外来生物 — その生態と影響」

と き: 2019年3月18日(月)まで開催中

と ころ: ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

詳しくは、
只見町プラナセンター
までお問い合わせ
ください

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています